

第1回

ITC三方よし新聞

「経営に役立つIT活用」を通じて、「中小企業」「支援者」「地域社会」の三方が笑顔になるためにはどうしたらよいか。ITC-Pro東京に入会したITコーディネータ・連携会員が共に考えます。

特集

ITコーディネータの腕の見せどころ Part1

業務改善（改革）のためには、いきなり「IT」ではありません。

業務フローを描くことで「気づく」大切さを知ろう！

経営者・現場と、企業の課題を抽出し、根本的な解決策に気づくためには、業務フローは大変有効な手段です。

昔は、先輩ITコーディネータの企業支援の後ろに手弁当でついて行って、As-Is（現状）、To-Be（あるべき姿）の業務フローを徹夜して描いたというITCの方も多いのではないのでしょうか。結果、全部ボツにされ、口惜しい思いをしながらも、先輩方が描きなおしてくれたフローを見て納得する経験は、いまから思えばずいぶん先輩にご苦労をかけたな、と振り返ります。

そんな企業の基幹系業務の改善では当たり前前の業務フローですが、最近ではフロントのWEBに関する支援依頼も多くなり、業務フローを書いたことがない、いきなり言われたシステムの話

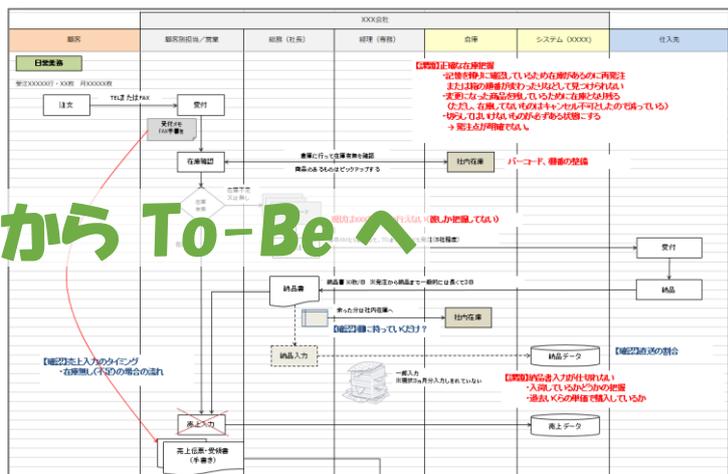
から・・、というITコーディネータにお会いすることも多く、大変残念に感じるときがあります。

特に中小企業の方は、いま目の前にある（現象としてわかる）課題に対しての解決を求めてきますから、企業側も我々も辛抱のいる業務フローを描くことを最初から行うことは難しい場面も多いかと思えます。

また描き方を間違えると、ただ単に労力だけを費やし、「何だったんだ」という事態になりかねません。

経営者や現場との信頼関係を築き、企業規模・業種業態、改善ポイント・タイミングに合わせて、適切な粒度で、課題や解決策が導き出せる正しい業務フローを描けることが、ITコーディネータの腕の見せ所です。

As-Is から To-Be へ



Column

人みな我が師
～中小企業経営者に学ぶ～

「理念の大切さを再認識」

仕事柄多くの中小企業経営者にお会いしますが、その中で自分で考え、体験し、経験の中から試行錯誤し、今の時代や環境に合った実践をしている人にお会いすることがあります。

先日お伺いした中に、ランチェスター戦略と理念チラシで難局を乗り越え業績を安定させてきた方がいました。この組み合わせも結構絞込がきいていますが、チラシも売り込みや自分たちが何ができますというのを載せるのではなく、自分たちのやりたいこと、姿勢、目指すことだけを書いているそうです。売り込みから入る営業の人が多く中で、実践に落とし込んでいくのがすごいと感じました。

また、理念採用を実践している中小企業経営者にもお会いしました。どこの企業もなかなか採用できない中で、お金や

目先の利益で釣って採用してもすぐにやめてしまって結局むなしい努力の繰り返しになってしまっていたのを、自分たちのやりたいこと、目指すこと、姿勢を伝えてそれに共感する人を採ることで長続きし向上心のある人が取れていく結果になっているそうです。

共通して言えることは、理念を持ってそれを実践している会社は、継続的に良い会社になっていくことを実感しました。私どもが今回立ち上げた「一般社団法人ITC-Pro東京」も長年の経験から導き出した理念から出発しています。この理念に共感する人を集めて、世の中の役に立つ会に育てていきたいと思っております。是非我々の理念をご覧ください。(谷)



ITC-Pro東京連携企業のご紹介



私たちは「システム修理屋」です

株式会社ノースパーク
代表取締役 北園健一



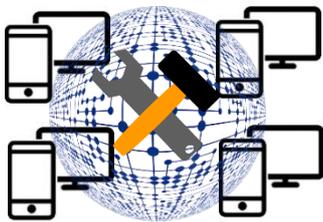
作り直しではなく 既存システムを修理しよう！

「業務システムを新しくしたいのだが…作り直しとなるとコストがかかりすぎる。何とかできないか？」という相談を経営者の方からよく依頼されます。皆さん大手・中堅システム開発会社にシステム刷新を見積してもらったところ、目の玉が飛び出るような金額を提示され、新システム開発を断念するか？えいやで大金を突っ込むか？の二者択一を迫られて悩んでいらっしゃいました。

家やモノと同じように、ソフトウェア・システムにも「修理」という方法があります。私たちは「**まずは既存システムを修理しましょう**」という提案を行っています。

既存システムの「修理」の手順

1. どうしても困っているところだけをまずは改善する
2. 他のシステムやサービスと連携させる
3. 小さく新システムを作り、徐々に機能を移行していく
4. お客様と一緒にシステムを育てる



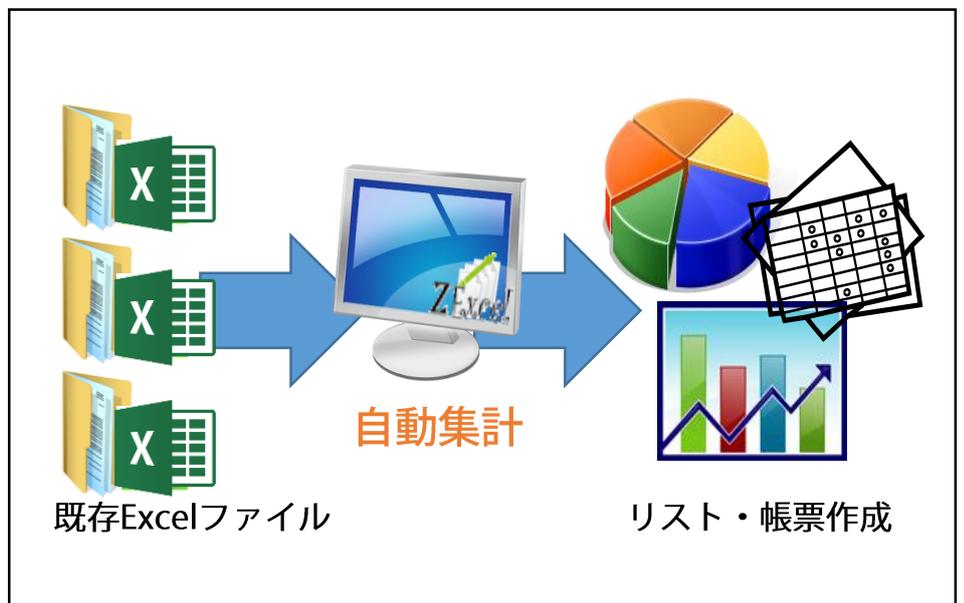
つまり最初はあまりコストをかけずに既存システムを改善することができます。

どうやって既存システムの修理を行うか？

既存システムについて悩んでいる理由はほぼ皆さん同じで、「データ操作が**煩雑・属人化**している」ケースが殆どです。つまり、既存システムに無い機能をExcelを使って「**手作業**」で「**コピペコピペ**」を繰り返し何日もかけてデータ操作をしています。これらの作業は時間もかかりますし、手作業だと間違いも出てきます。もし、これらの作業を自動化できれば**便利**ですね。

まずは大量のExcelファイルの自動集計から始めよう

弊社が開発した複数のExcelファイルを自動集計するソフトウェア「ZExcel」は、既存のExcelファイルを使用し、今まで手作業でExcelで行っていた「リスト作成」「帳票作成」を**自動化**することができます。既存システムのデータベースと連携しExcelファイルを操作することもできます。http://zexcel.com
システムを修理する方法を私たちは知っています。ぜひITCの方と連携して、中小企業のお悩みにフィットした解決策の提案・実装の支援が出来たらと思います。



社員の結束力と自律力を高める！

紙 Web ハイブリッド社内報

- ✓ 会社DNAの浸透と帰属意識の植え付け
- ✓ 社内コミュニケーションの活性と連携強化
- ✓ ナレッジ共有ツール

シンク株式会社 × 株式会社みなみ企画
お問い合わせ先 ☒ info@hotsync.co.jp

社員定着率アップ

社員の成長

会社の戦力アップ





今月の注目 ITコーディネーター

IoT/AI活用の基本

合同会社井上研一事務所 代表社員 井上研一

ITC-Pro東京 IoT/AIチームリーダーの井上研一です。皆さま、よろしくお願い致します。

いま、ロボット革命イニシアティブ協議会（RRI）がIoTツール・レシピ募集イベントを行っています。ITC-Pro東京としても2件にレシピを応募しました。応募の際は、そのツール・レシピが、①データを上げる、②データをためる、③データを分析する、④データを活かす、⑤データを見せるのうち、どの領域を満たしているか示さなければなりません。この5つの領域はIoT活用を考える上での基本です。

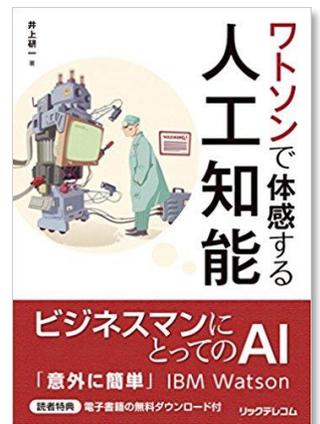
私はITコーディネータ協会や、民間企業などの主催で、IoT/AI研修講師を務めさせていただいています。研修の中では、IoT活用のステップとして、可視→自動→予測→自律というステップでご説明しています。

IoTデバイスでデータを取得し、データを上げ

ることで、データを見せる（可視）ことができるようになります。さらに、閾値などを設定して何らかの処理を自動化することもできます。データを上げることはデータをためることでありますから、たまったデータをAIなどで分析することで予測したり、自律的な動作をさせたりすることも考えられます。

このように、可視化のような作りやすいメリットを組み入れながら、データの蓄積を進め、徐々にAI活用まで進めていくのがIoT/AI活用の定石でしょう。何ごとも一步一步進めていくことが大切です。

AI活用の基礎知識としては、拙著「ワトソンで体感する人工知能」（2017年7月・リックテレコム＝刊）もご活用いただけるのではないかと思います。こちらもよろしくお願い致します。



経営に役立つデジタルマーケティングの知識

ウェブ解析士マスター 小坂 淳

2016年4月にITコーディネータ登録しました小坂です。

2000年からウェブ解析の仕事をしており、今年3月に再独立しフリーランスになりました。一般社団法人ウェブ解析士協会の理事も務めております。

「ウェブ解析」というと、ウェブのデータを分析しウェブサイトや広告を改善するように感じる方も多いと思いますが、それは一部です。

デジタル以外のデータも含めて企業の事業や施策を分析し、広告戦略だけではなく、新サービス開発や仕事改革などまで踏み込むこともあります。

昨今はスマートフォンの普及や様々な場所でのデジタル化の流れを受け、測定範囲も拡大しています。

その企業の戦略上のKGI/KPIを考え、

データ取得の仕組みを作り、デジタル組織を作ります。

大事なことは営業やマーケティング、管理、情シスなど様々な部署が団結してウェブ解析を実施し、デジタルマーケティングを推進することです。

余談ですが、3月に退社後3か月間日本全国を旅していました。その中でウェブ解析士仲間も多く会いましたが、新たな気付きを得ることができたので、今後の活動にも活かしたいと思っています。

これまでITCとしてはあまり活動していませんでしたが、10月21日にITC多摩の勉強会に登壇することになりました。

デジタルマーケティングの基礎知識や課題について話す予定です。





ITC-Pro東京

先月の活動状況

- 8月1日 一般社団法人ITC-Pro東京 設立
第8回中杉IT応援隊開催
※中杉IT応援隊は、東京中小企業家同友会中野・杉並支部の合同分科会です。
毎月ITCがサポートして、IT（キーワード）の学習やITに関するお悩み相談をしています。
- 8月8日 ITCA協会へ法人設立のご報告
IoT・AIチーム AI・IoTレシピプロジェクト 検討本格化
- 8月11日 FileMakerチーム 養成実践プロジェクト始動
- 8月17日 中小企業のIT経営マガジン COMPASS秋号発行
※COMPASSはリックテレコム社が出版する中小企業経営に効果が出るITの使い方・事例が掲載された季刊誌です。無料で購読可能です。
- 8月22日 IoTツール・レシピ応募



ニュース&トピックス



法人設立発表会を開催いたします。

開催日時：平成29年9月17日（日）15時～20時
開催場所：ちよだプラットフォームスクウェア

 一般社団法人 ITC-Pro東京
IT Coordinators Professional Tokyo Association

[ご案内はこちら](#)

一般社団法人ITC-Pro東京は、このたび設立発表会を9/17に開催する運びとなりました。また、発表会に引き続き懇親会も開催いたします。

ITC-Pro東京に対して会員登録者、希望者の方々が、ITC-Pro東

京会員になった後に関する事業戦略や部門、チーム制についてご説明いたしますのでご出席頂きたくご案内申し上げます。

出席の申込みは、<https://www.itcpro-tokyo.or.jp/> からお願いいたします。

ITCケース研修二期募集内容

一般社団法人ITC-Pro東京では「ITコーディネータケース研修」第二期の第一、二次を開催いたします。

会員の皆さまの周りでITコーディネータを受講する方が居られましたら是非、ご紹介いただけますと幸いです。

■日程

①企業内の方でもご参加しやすい平日一次コース

11月13-14日、12月11-12日、1月22-23日

講師はベテランの3名（阿部、用松、新木）が担当します。

事前説明会や試験対策講座などもございますので是非、お気軽にご相談ください。

②独立者や平日お忙しい方でも参加しやすい休日二次コース

12月9-10日、1月13-14日、2月10-11日

